

NEW

# 愛&ノハート

愛の家・あいハート須磨・  
あいハート離宮前

- 近況報告
- 新人職員紹介

全体会議

- 愛の家・あいハート須磨・あいハート離宮前

御下賜金の拝受

2023 May  
**264号**

特養利用者さん



## 愛の家

◆ 副施設長 渡會 幸喜

昨年4月、愛の家副施設長に就任し、早いもので一年が過ぎました。この間も、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止に向けた取り組みを一貫して行った結果、誰ひとり重症化することもなく、安心で安全なサービスが提供できたことに自信と誇りをもつことができました。

地域の皆さんの温かい励まし、各関係者の皆さんとの協働により滞りなく事業運営を続けられたことに心からお礼を申し上げます。

さて、今年度は中期経営計画の1年目となります。安定的で継続性をもった経営の実現に向け、稼働率の向上及び各種加算の算定における収入増、徹底した価格比較によるコストの削減等、まだまだ見直しの余地があると考えています。特に、職員の退職に伴う人員配置基準の適正化や次世代のリーダー候補となるマネジメント体制の強化が重要となります。

また、日中作業棟の建設に向けた「みらいの福祉建築プロジェクト」



ト」には、今年度もチャレンジします。このプロジェクトは日本財団が、建築デザインを重要な要素として位置づけています。福祉施設の更なるアップデートとこれからの地域社会づくりをサポートするため、岬町は少子高齢化率が進んでいる地域です。「地域を知り、人を知り、人の心を知る」という視点をもった活動が基盤を築いていくものだと考えられます。

福祉業界は専門性や想像力が求められる職種ですが、その根底には「思いやり・愛情」が利用者やその家族を支える原動力であり、職員の使命であると考えます。愛の家を利用して良かったと

感じてもらえるよう、努力を重ねてまいりますので、今後ともご指導を賜りますようお願い申し上げます。

◆ 事務主任 森口 威

こんにちは、愛の家「事務」の主任をしています森口です。

私たち事務職員は、今年度も『愛の家の窓口』として、『笑顔の挨拶』『明るい職場』を心掛け、日々励んでいきたいと思えます。

ここ約3年の間は新型コロナウイルスに始まり、新型コロナウイルスに終わる3年であったと感じています。面会、外出ができなかったため事務所への来訪者もほとんどおらず、利用者さん共々、静かにじっと感染対策をしながら過ごしていました。それでも感染者が増え、施設でクラスターが発生した際、事務職員が交代で保健所に何度も何度も往復したことが今でも思い出されます。

さて、今年度は法人として、中期経営計画の新たな年度に入ります。コロナも5類に移行となりました。行動制限、外出制限等も解除されつつありますので、事業計画の一つであります地域交流の推進、ボランティアさんとの交



流の推進を愛の家としても積極的に行っていければと思います。

4月8日、利用者さんと職員のみでしたが、「さくらまつり」を久しぶりに開催することができました。心地よい日差しの中、愛の家運動場でバーベキューをして、皆で食事をして喜び利用者さんの笑顔が大変印象に残りました。

今年度計画している主なイベントとして、8月には愛の家運動場での「出店イベント」、10月には「運動会・アート展」、12月には「クリスマス会」を予定しています。

今年は数年ぶりに、感染対策をしながらも制限のない交流ができるようになることを信じ、利用者さん職員共々イベント等でお会いできることを楽しみにしています。地域の方々、NTT労組の皆様、引き続き

きのご支援ご協力をよろしくお願  
いいたします。

◆ きぼう主任 辰見 幸子

「忘れ物ない?」「気を付けてい  
つてらっしゃら」

春です。桜も散りました。新年  
度が始まりました。

子どもたちも新しい学年にな  
り、期待と不安をにじませた表情  
でスクールバスに乗って登校し  
ていきます。

私も、この春に新しい役職、き  
ぼうの主任として辞令をいただ  
きました。今まで現場支援の仕事  
に目をむけて業務に携わってき  
ましたが、これからは主任とし  
て、きぼうの事業計画や施設運営  
等も念頭に入れ業務を行ってい  
くこととなります。私で務まるの  
が不安はたくさんありますが、部



門長の横につき、少しずつ学んで  
いきたいと思えます。

また、現場職員と上司との架け  
橋として、適切な情報共有と透明  
性のある意思決定を実現するた  
め、私自身が率先してコミュニケ  
ーションを取り、職員全員が意見  
を出しやすい環境を作っていき  
たいと思えます。私は1人では何  
も成し遂げることができません。  
だからこそ、職員のみならず一  
緒に、協力しながら児童への支援を  
行っていきたいと思っています。

この施設で長く働いてもらえ  
るよう、人材育成や業務内容の見  
直しを部門長や、現場職員と協議  
し、働きやすい職場が作れるよう  
取り組んでいきたいと思えます。

コロナも少しずつ落ち着き、外  
部との関わりも少しずつ増えて  
いくと思えます。地域のイベント  
行事に参加し、子どもたちの社会  
性を育んでいけるよう、充実した  
生活が送れるよう、現場の職員と  
試行錯誤しながら支援を行って  
いきたいと思えます。

不安はたくさんありますが、で  
きることからひとつずつ取り組ん  
でいきたいと思えますので、これ  
からもよろしくお願いたします。

新入職員  
ご紹介



愛の家 きぼう  
後藤 雪乃

4月から愛の家の職員と  
して入職いたしました(児  
童部「きぼう」配属)後藤雪  
乃(ごとうゆきの)と申しま  
す。大学では主に幼児教育  
について学びました。障が  
いの特性だけでなく、利用  
者さん自身の特性や個性を  
認め、一人ひとりに合った  
声掛けや支援を意識してい  
きたいです。

今は業務を覚えることで  
精一杯ですが、まだまだ未熟では  
ありますが、利用者さんたち  
と共に成長し続ける職員を  
目指して頑張りますのでよ  
ろしくお願いたします。



愛のかがやき  
上野 圭佑

この度、知的障害者総合福祉  
施設愛の家に入職しました上  
野圭佑です。

先輩方を見習い、いち早く業  
務や利用者さんとの接し方な  
どを覚えていけるよう日々尽  
力していきます。

専門学校で学んだことを活  
かして、より良い支援を行うと  
ともに利用者さんと良好な関  
係を築きたいと考えています。

利用者さんには、安心して  
日々を過ごしながら、いずれ地  
域で生活できるようになってい  
ただきたいと思っています。

まだまだ未熟ですが、私自身  
日々研鑽を重ねてまいりますの  
で、よろしくお願いたします。

## あいハート須磨

### 「防犯訓練の実施について」

◆特養主任(生活相談員) 岡田 英子

あいハート須磨で防犯訓練を実施しました。

2016年、神奈川県の高齢者支援施設で起きた入居者殺傷事件は、障害者施設の利用者及び関係者に大きな衝撃を与えました。高齢者施設においては、これまで火災や自然災害への備えについては一定の基準が設けられ、利用者の安心・安全の確保が図られてきましたが、防犯という観点では十分に配慮されてきませんでした。

しかし、この事件発生により、高齢者施設等においても日頃から防犯意識を持ち、防犯対策を心がける必要性が高まりました。地域とのつながりを大切にしつつ、高齢者の尊厳が守られ、犯罪等の被害に合わないよう、安心・安全を確保することが求められます。

あいハート須磨では、規模・立地・設備等の状況や、利用者の要介護度・年齢・職員数・勤務体制等の施設の実情を踏まえ、20

19年2月に防犯マニュアルを作成しました。具体的な内容や職員の役割を明確にしつつ、緊急時にどう行動すればよいのか分かるようにシンプルなものにしました。2023年3月28日、このマニュアルを用いて初めての防犯訓練を行いました。

訓練の内容は、①施設に一人の男性が来られ、窓口(事務所)で入館受付簿を記入せずに、そのまま施設内に入る、②様子を見ていた事務所の職員が男性に声をかける、③その声を無視して、侵入していくので不審に感じた職員が声をあげて他の職員に助けを求め、各部門に連絡の上で安全対策を講じる、という流れでした。



▲入居者の避難誘導

対応の主なポイントは、①言葉や態度に注意しながら、正当な理由がなければ丁寧に退去を求め、②退去に応じない、暴言を吐く、暴力をふるう等があれば大声で事務所職員へ警察への通報を依頼する、③館内放送で不審者の侵入を伝え、各フロアでの防犯体制を指示する、④利用者に近づかないようにエレベーターを2階で停止させるとともに防火戸を閉め、長椅子や台車でバリケードする、という点でした。



▲バリケードの様子

兵庫県警によると、「通報を受けた警察が現場へ到着するまでの時間は約8分」と言われています。8分が経過した時点で訓練終了するという流れでしたが、実際に訓練をしてみると、その時間がとても長く感じられました。

訓練終了後は、参加した職員で反省会を開きました。今回の訓練で、利用者と職員の身を守るように、職員一人ひとりが知識と技術を身に付けることが大切だと感じました。反省会で出た意見を今後活かし、落ち着いて緊急時の対応ができるようにしていきたいと思えます。

### 「選択プログラム『書道』」

◆デイサービス主任 堀下 淳子

『書道』は「字が綺麗になりたい」「書道に興味がある」というご利用者の要望に応え、選択プログラムの一環として2021年5月よりスタートし、今年で3年目を迎えます。『日本習字』の師範の資格を持つ職員が講師を務め、ご利用者が意欲を持って自主的・継続的に取り組めるように個別ケアの実践を目的として取り組んでいます。

Nさんは開始当初より参加され、「般若心経をきちんと書きたい」という目標に向けて取り組んでいます。『般若心経』は1行17文字もあるので字のバランスが取り難く、さらには全体のバランスも考えなければならぬため難易度も高めです。初めは「下に書



いていくほど字が大きくなり、枠に入らない」「二つ二つの押さえ、止め、払いが上手くいかないと話され、基本的なことが上手いはず苦戦していました。その為、添削した部分を意識しながら書くようアドバイスさせていたのだと、今では字のバランスや基本的なことがしっかりとできて、『般若心経』の作品ができあがるまで、もう少しのところまでできています。

Tさんも同様に、開始当初より参加されています。「子どもに習字を習わせていた頃、息子達の字が綺麗で。その字を見て、私も綺麗な字を書きたい」と始められました。Tさんは熱心で、以前はご自宅でも課題を練習されていました。その際、息子さんに「綺麗になつてき

『書道』の取り組みの様子はInstagramでも配信しておりますので、ぜひご覧下さい!



▲InstagramのQRコード

たやん」とお声を掛けられたことが嬉しかったと、ご報告して下さいました。現在は毎月のお題に取り組んでおられますが、4月は『皐月』です。特に『皐』はバランスが取り難く、文字の間隔が分からなくなってしまうのが二つの難関です。1枚書いては添削し、練習を積み重ねていきましたが、書き始めより中心から寄ってしまう、また文字も小さくなり、とても苦戦されていました。最後の1枚は、口頭でアドバイスしながら誘導していくと、『皐』のバランスも良く、素敵な作品が出来上がりました。

## 新入職員 ご紹介



あいハート須磨  
駒田 琴音

はじめまして。4月からあいハート須磨の2階特養で働いております。駒田琴音(こまだことね)と申します。

高校生の時にあいハート須磨に実習に來させていただき、魅力を感じ入職いたしました。

介護の勉強を始めたきっかけは、幼い頃から面倒を見てもらっていた祖母の足の状態が悪くなった時、祖母のような不自由な事がある方々に対して、最期の時まで笑顔で過ごせるお手伝いがしたいと思ったことです。

介護の実習などを通して、利用者様を笑顔にしたい、利用者様がワクワクできるように毎日を過ごしていただきたいと感じました。そのためにも、私自身が、利用者様に対して感謝の気持ちを常に忘れず、毎日接していきたいと思えます。社会人一年目で右も左も分からない状態ですが、1日でも早く一人前の職員になれるように精一杯頑張りたいと思います。

まだまだ慣れずご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



あいハート須磨  
長田 愛蘭

初めまして。この4月からあいハート須磨の特養部門に勤めております。長田愛蘭(ながたあいら)と申します。

私が介護の仕事に興味を持ったきっかけは、祖母が以前からお世話になっていたデイサービスのスタッフやケアマネジャーさん達が自宅に來た時は、祖母は普段より良い笑顔で元氣だったことです。その時に高齢者を笑顔にする、元氣にする介護の仕事に魅力を感じました。

介護の仕事は全くの未経験なので、最初は失敗することもあるかもしれませんが、先輩の皆さんにしっかりとご指導いただき期待に応えられるように頑張ります。

私の趣味は友人とゲームをしたり、映画(アメコミ)を見たり料理をしたりすることです。ちなみに得意料理はハヤシライスです。

これから自分のペースを保ちながら、できるだけ早く仕事を覚えていきたいので、どうか温かい目で見守っていただけると嬉しいです。どうぞよろしくお願い致します。

## あいハート離宮前

### 「有料老人ホームを選ぶ際の チェックポイント」④

◆ 施設長 古崎 徹

平素はあいハート離宮前の運営にご理解とご協力を賜わりありがとうございます。

さて、皆さんは介護保険サービスの利用料に「加算」というものがあるのをご存じでしょうか。

実は介護保険制度の施行当初にこの「加算」は無く、利用料はサービス種別と要介護度ごとに一律でした。ところがその後の制度の見直しによって「基本報酬」と「加算」に分離され、特に有料老人ホームでは2015年までに大幅に基本報酬が削減され、その削減分が加算に置き換わったという経緯があるのです。

この「加算」とは「手厚い体制を整え、高度なサービスを提供する事業者への報酬を保証する一方で、そうでない事業者は減収になる」制度であり、有料老人ホームが介護保険制度の施行直前の1999年から2019年までの20年間に3033ホームから約50倍の15,134ホームにまで急成長をした、まだまだ成熟せず玉石混淆していると言わざるを得ない市場にあることを鑑

みますと、大切な社会保障費を正当な対価として配分する「加算」は合理的かつ妥当な仕組みであると私は考えております。

有料老人ホームの加算には、前回お伝えした「夜間看護体制加算」の他に、介護福祉士の割合等が要件の「サービス提供体制強化加算」や医療機関との連携が要件の「医療機関連携加算」、口腔ケアに関する「口腔衛生管理体制加算」、他にも個別機能訓練やADLの維持、認知症ケア、科学的介護の推進等に係る加算があり、それぞれに一定の資格を有する職員の配置や研修の修了、定期的な会議の開催等、所定の要件を満たさなければ算定できません。

つまり、どのような加算を算定しているかを知ること、いかに手厚いサービスが受けられるかの目安を得ることができのです。

これら加算の算定状況はホームページや、介護保険の契約書などを閲覧・請求することでご確認いただくことができます。

より良いサービスをご提供する環境を整えることは事業者としての責務であり、ご利用者様との約束であり、信頼の礎です。有料老人ホームを選ぶ際には「加算」に対するホームの姿勢や取り組み状況をぜひチェックしていただきたいと思います。

### 新入職員 ご紹介



あいハート離宮前  
笹部 亜希子

4月よりあいハート離宮前に入職した笹部亜希子と申します。前職は老人保健施設にて介護に携わっていました。この度、有料老人ホームでの勤務に今はただ緊張と不安の日々の連続です。

初日より、このあいハート離宮前の先輩スタッフさん達に、とても明るく気さくに声をかけていただき、良い環境にて働ける事に感謝しています。介護福祉士としての経験もまだ浅く、又ご迷惑もたくさんかけると思いますが、早く馴染んで皆様の力になれる様がんばっていきたいと思っておりますので、根気強く又ご指導のほど宜しくお願い致します。



あいハート離宮前  
神崎 郁花

4月より正規職員として、あいハート離宮前に入職しました神崎郁花(かんざきあやか)と申します。

以前は総合病院の病棟で、看護師として働いていました。介護施設で働くのは、初めてで日々の業務の中で病院との違いを実感しています。介護施設は入居者様が【生活する場】であり、入居者様が安心して生活できるような看護を提供していきたいと思っております。

日々のコミュニケーションを意識し、些細なことでも相談してもらえような看護師になりたいと思います。不慣れな点も多く、ご迷惑をおかけすることもありますが、よろしくお願いたします。

## 全体会議

4月3日(月)に、愛の家、あいハート須磨・離宮前において、2023年度キックオフ(事業計画説明会)が開催されました。冒頭では、新たに法人の仲間となった新人職員(愛の家2名、あいハート須磨3名、あいハート離宮前2名)が紹介され、それぞれ一言挨拶を行いました。



また、永年勤続職員への感謝状と記念品の贈呈、2022年度における事業計画を達成した部門に対する感謝状が授与されました。永年勤続表彰では勤続20年を超える職員も数名おりました。

その後は、今年度から新たにスタートする中期経営計画(2023～2025年度)及び2023年度事業計画について、施設長、事業各部門長が説明と決意表明を行いました。



5月からは新型コロナウイルスも5類へ移行となり、各種イベントやご家族様の面会の再開など、ようやくコロナ前の日常が戻ってくる見込みの年となります。気持ち新たに各施設と各部門がそれぞれ立てた事業計画の達成に向け、日々の業務に励みたいと思います。

## ごかしきん 御下賜金の拝受について

天皇誕生日(2月23日)に際して、天皇家陛下の社会福祉事業御奨励の思召により、当法人の愛の家「きぼう」に対して金一封が下賜されることが決まりました。

2023年2月20日、大阪府庁にて伝達式が行われ、大阪府副知事 海老原様より当法人橋本理事長に伝達されました。

誠に名誉なことであり、これからも拝受するのに相応しい法人の経営・運営に取り組んでまいります。

今まで以上に皆様方のご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



左から:上野施設長、橋本理事長、大阪府副知事 海老原様、鳴神(きぼう)部門長

## ご支援をくださった方々

### 《2月》

#### 寄付金

情報労連滋賀県協議会 様  
新十月会 様  
西尾 多美代 様  
(計3件)

### 《3月》

#### 寄贈品

小宮 美枝 様

#### 後援会費

NTT労働組合 データ本部 関西分会 様

#### 寄付金

きらら保険サービス株式会社 様

#### マッチングギフト

NTT西日本グループ 様  
NTT西日本 兵庫支店 様  
株式会社NTTドコモ 関西支社 様  
株式会社ドコモCS関西 様  
(計7件)

# ❖ 新年度開始にあたって ❖

新年度が始まりました。今年度は、新たな中期経営計画(2023年度～2025年度)の開始年度でもあり、当法人が更に発展するためのティッピングポイントにしたいと思っています。中期経営計画は、法人本部や各施設(愛の家、あいハート須磨・離宮前)はもとより、各施設が運営している事業部門(特別養護老人ホームや障害者支援施設等)単位でも作成しており、それぞれの組織単位で課題解決や新たな価値の創造に向けた取組みを展開することになっています。

各事業部門の中期経営計画を作成するにあたり、昨年度は各施設の部門長や主任等を対象とした研修(全7回)を実施しました。研修では、バランススコアカードの視点(財務、顧客、業務プロセス、職員)による戦略目標の設定や目標を実現するための「重要成功要因の設定」、「評価指標の設定」等について学びました。これまで、計画策定に関する手法を体系的に学ぶ機会が無かったため、有意義な研修になったと思います。完成した中期経営計画は、まだまだ改善の余地が残る内容ではありますが、今後も策定を継続することで、内容の充実を図りたいと考えています。

法人本部の事業計画は、これまで各施設と同様に法人理念の「施設の運営姿勢」に基づいた項目で策定してきました。しかしながら、これまでの項目では実際に本部が担っている役割や機能にそぐわない部分があったため、今回、項目の全面見直しを実施しました。新たに設定した項目は、**①法人運営**、**②法人戦略の策定・実行推進**、**③施設への経営支援**、**④施設経営のチェック**の4項目で、各項目の中に複数の中項目と具体的な取組内容(アクションプラン)を整理しています。

今後の法人の発展という面で、特に重要な「法人戦略の策定・実行推進」については、7つの中項目(**①事業別経営指標分析の継続・充実**、**②本部重点事業に関する戦略及び実行計画の策定**、**③新規事業の検討**、**④投資資金確保に向けたスキームの確立**、**⑤人事戦略の検討**、**⑥中期ビジョンの実現**、**⑦投資計画のローリング**)を設定しています。各中項目のアクションプランの中には、難易度が高く、達成レベルを想像しづらいものもありますが、これらを推進することで間違いなく当法人は成長(前進)すると考えています。

事業を安定的に継続・発展・強化していくためには、収益が必要であり、その成長度合いも重要な要素です。2013年度から2022年度の10年間における当法人の売上高成長率(事業活動収益成長率)は、29.2%(年平均2.9%)でした。売上高成長率は業種や事業規模によって差があるため、明確な目安はありませんが、一般的に安全水準は「0%以上5%以下(超優良水準:6%以上20%以下)」と言われています。当法人は安全水準ではありませんが、多角化や多機能化、定員拡大といった事業拡大の要素が含まれていない部分もあります。この3年間で新たな事業展開の検討を進め、今後の発展に向けた事業拡大の基礎を創り出したいと思っています。

副理事長 森本 光弘

## 「皆様の声」受付窓口

全電通近畿社会福祉事業団では、社会福祉法第82条の規定に基づき、利用者家族の皆様等から「苦情」やご意見に適切にお応えするための体制をとっています。面接・電話・書面等のようなかたちでも結構ですので、遠慮なく、お気軽にお申し出ください。

- 愛の家 ..... 072-494-0123
- あいハート須磨 ..... 078-737-2525
- あいハート離宮前 ..... 078-731-2130
- 法人本部 ..... 06-6458-5723

## 【発行】

社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団  
〒553-0003 大阪市福島区福島 3-1-73  
TEL 06-6458-5723  
Website <https://www.zendentu-kinki.jp>  
Facebook <http://www.facebook.com/zendentukinki>  
E-mail [jigyodan@silver.ocn.ne.jp](mailto:jigyodan@silver.ocn.ne.jp)

## 【発行人】

理事長 橋本 寿樹

